

令和 7 年 度

教育に関する事務の管理及び
執行の状況の点検及び評価
に関する報告書

(令和 6 年度事業分)

常陸大宮市教育委員会

目 次

1 点検評価の概要

(1) 趣旨	1
(2) 点検及び評価の対象	1
(3) 点検及び評価の方法	1
(4) 令和6年度に教育委員会が実施した主な事業の点検及び 評価結果	2

2 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員の選任状況	3
(2) 教育委員会会議の開催状況	3
(3) 会議及び研修会等への参加状況	4
(4) 総合教育会議の開催状況	4
(5) その他	4

3 個別事業（令和6年度事業）の点検評価結果

(1) スクールバス運行事業	6
(2) 学習用 ICT 機器管理事業	7
(3) はたちのつどい実施事業	8
(4) 文化祭開催事業	9
(5) 文化振興事業	10
(6) 競技スポーツ支援事業	11

4 常陸大宮市教育行政点検評価委員の総合的所見

12

1 点検評価の概要

(1) 趣旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、教育委員会は、毎年、教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することとされています。

この度、本市教育委員会では、令和6年度の教育委員会活動状況及び実施した事業について、教育に関し学識経験を有する外部委員の意見を徴し、点検及び評価を実施いたしましたので、本報告書のとおり公表いたします。

(2) 点検及び評価の対象

点検評価の対象事業は、第2次常陸大宮市教育振興基本計画（令和5年度～令和14年度）の基本施策として実施する事業、常陸大宮市総合計画（実施計画）における令和6年度重点事業及びその他点検評価が必要と認める事業から6事業を選定いたしました。

(3) 点検及び評価の方法

教育委員会が令和6年度に実施した事務事業を「教育委員会の活動」、「教育委員会が行った事業（点検評価対象6事業）」の二つに大別し、点検評価内容の客観性を確保するため、常陸大宮市教育行政点検評価委員規程（平成21年教育委員会訓令第11号）に基づき委嘱した外部委員から事業の点検評価を受け、事業評価に対する意見を求めるとともに、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する所見を求めました。

① 委員会開催日

第1回 令和7年9月26日（金）

行政点検評価対象事業の説明及び事業の選定

第2回 令和7年10月27日（月）

対象事業の点検評価実施、委員の意見集約

② 教育行政点検評価委員（順不同）

- ・鹿島 優 氏（元茨城県教職員）
- ・池内 耕作 氏（茨城キリスト教大学副学長・教授）
- ・佐藤 隆 氏（茨城女子短期大学こども学科長・教授）

（４）令和６年度に教育委員会が実施した主な事業の点検及び評価結果

内部評価			委員による点検評価		
【①事業執行状況】					
	事業数	比率(%)			
A 必要性・効果が高い	5	83.3			
B 必要性・効果がある	1	16.7			
C 必要性・効果がない	—	—			
【②今後の方針】			【評価結果】		
	事業数	比率(%)		事業数	比率(%)
廃止・休止	—	—	廃止・休止	—	—
縮小	—	—	縮小	—	—
見直し	—	—	見直し	—	—
現行どおり	6	100.0	現行どおり	6	100.0
拡充	—	—	拡充	—	—

※参考：評価結果の考え方

廃止・休止	事業を実施する必要がなくなったもの 別の事業に置き換えていけるもの 事業が終了したもの
縮小	事業内容の見直しを行い縮小が必要なもの
見直し	事業内容の見直しが必要なもの
現行どおり	現状の予算等で事業効果が得られるもの
拡充	事業費を増やすことで事業効果が高まるもの

2 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員の選任状況

職	氏 名	任 期
教 育 長	小 野 司 寿 男	R4.4.1 ～ R7.3.31
委 員	宮 田 則 子	R3.10.20 ～ R7.10.19 (教育長職務代理者) (R6.10.25 ～)
委 員	橋 本 勇 夫	R5.12.25 ～ R9.12.24
委 員	宮 本 亜 希 子	R3.2.23 ～ R7.2.22 (教育長職務代理者) (R5.10.25 ～ R6.10.24) R7.2.23 ～ R11.2.22
委 員	菊 池 久 義	R6.4.1 ～ R10.3.31

(2) 教育委員会会議の開催状況

月 日	区分	議案件数	協議件数	報告件数	選挙件数
R 6年 4月25日	定例会	9	—	2	—
5月27日	定例会	3	—	1	—
6月25日	定例会	2	—	2	—
7月19日	臨時会	1	—	—	—
7月25日	定例会	5	—	3	—
7月29日	臨時会	—	—	—	—
8月26日	定例会	—	1	2	—
9月25日	定例会	3	—	3	—
10月25日	定例会	1	—	2	—
11月25日	定例会	1	1	2	—
12月25日	定例会	4	—	3	—
R 7年 1月27日	定例会	2	2	1	—
2月25日	定例会	2	—	5	—
3月13日	臨時会	1	—	—	—
3月25日	定例会	6	—	4	—

合 計				
区分	議案件数	協議件数	報告件数	選挙件数
定例会（12回）	38	4	30	—
臨時会（3回）	2	—	—	—

（３）会議及び研修会等への参加状況

- ・管内市町村教育委員会教育長等会議
- ・市町村教育委員会教育長会議
- ・関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会
- ・市町村教育長協議会夏期・冬期研修会

（４）総合教育会議の開催状況

会議日	件 名	参加者
R7年1月27日	学力向上にコミットする教育の推進について 部活動の地域移行について	教育長 教育委員

（５）その他

- ・学校管理訪問（小学校11校、中学校4校）（参加者：教育長）

月 日	訪 問 先
R6年5月21日	美和小学校、緒川小学校
6月24日	大宮中学校、山方中学校
6月28日	大宮小学校、山方小学校
7月 4日	村田小学校、上野小学校
9月18日	大宮北小学校、山方南小学校
9月25日	第二中学校
10月 1日	大宮西小学校、大賀小学校
10月18日	御前山小学校、明峰中学校

- ・学校訪問（小学校11校、中学校4校）（参加者：教育長、教育委員）

月 日	訪 問 先
R6年7月 9日	村田小学校、上野小学校、御前山小学校

月 日	訪 問 先
R6年7月17日	大宮小学校、大宮西小学校、大宮中学校
10月23日	大賀小学校、大宮北小学校、第二中学校、 山方中学校
11月22日	山方小学校、山方南小学校、美和小学校 緒川小学校、明峰中学校

- ・各小中学校入学式、卒業式（参加者：教育長、教育委員）
- ・各小学校運動会、各中学校体育祭(参加者：教育長、教育委員)
- ・常陸大宮市賀詞交歓会（参加者：教育長、教育委員）
- ・はたちのつどい（参加者：教育長）
- ・常陸大宮市教育振興大会（参加者：教育長、教育委員）
- ・教育委員会事務局職員辞令交付式（参加者：教育長）
- ・教職員辞令交付式（参加者：教育長、教育委員）
- ・教職員人事異動辞令交付式（参加者：教育長、教育委員）

3 個別事業（令和6年度事業）の点検評価結果

番号	事業名	所管部署	内部評価	点検評価
1	スクールバス運行事業	学校教育課	現行どおり	現行どおり
2	学習用 ICT 機器管理事業	学校教育課	現行どおり	現行どおり
3	はたちのつどい実施事業	生涯学習課	現行どおり	現行どおり
4	文化祭開催事業	生涯学習課	現行どおり	現行どおり
5	文化振興事業	文化スポーツ課	現行どおり	現行どおり
6	競技スポーツ支援事業	文化スポーツ課	現行どおり	現行どおり

令和7年度教育行政(個別事業)点検評価結果報告書

事業番号		1	部課局名	学校教育課	事務事業対象年度	令和6年度
事務事業名		スクールバス運行事業				
事業の目的		統合により閉校になった地域の児童・生徒及び遠距離通学となる生徒(6km以上)に対してスクールバスを運行することにより、児童・生徒の利便性と安全・安心を確保するため事業を実施するものである。				
事業の概要		スクールバスの運行委託 合計37コース ①大宮地域12コース(村田小1コース・大宮小2コース・大宮北小1コース・大宮西小2コース・大宮中5コース・第二中1コース) ②山方地域7コース(山方小4コース・山方南小3コース(※山方中併用)) ③美和地域7コース(美和小4コース・明峰中3コース) ④緒川地域3コース(緒川小1コース・明峰中2コース) ⑤御前山地域8コース(御前山小5コース・明峰中3コース) 【事業費 318,631千円】				
内部評価結果 (総合評価)		① 事業執行状況(Ⅲ)の評価結果				
		<input checked="" type="radio"/> 必要性・効果が高い <input type="radio"/> 必要性・効果がある <input type="radio"/> 必要性・効果がない				
		② 今後の方針				
		<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止・休止				
点検評価委員会による評価結果	点検評価結果	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止・休止				
	点検評価理由	【A委員:現行どおり】 スクールバスは、遠距離通学となる児童・生徒やその保護者にとって利便性と安全・安心の確保において欠かせません。コースや停留所等の実情、経費面からの乗合バスやジャンボタクシーの利用等を十分に検討しながら、今後も現行どおり継続の必要な事業であると考えます。 【B委員:現行どおり】 統廃合に伴う児童・生徒の不利益を最小化するために有効かつ必要な施策である。 【C委員:現行どおり】 子ども達の安全・安心の確保はもちろん、学ぶ権利を保障するために必要な事業であり、ぜひ継続していただきたい。				
	主な意見	【A委員】 スクールバスの運行においては、天候による遅延や急な変更、学校の都合による運休等の課題があると思います。また、スクールバスを利用する児童・生徒の数も毎年変わります。各学校にあるスクールバス運行委員会の果たす役割は今後一層重要になってくると思います。各地域の実情を考慮し、今後も利便性と安全性の確保に努めてほしいと思います。 【B委員】 指標となっている「コース数」「乗車人数」とも、児童・生徒の居住学区をもとに目標値を設定したとのことだが、対象学区以外の居住者についてもスクールバスの利用希望がないかどうか調査いただき、対応の可否を検討のテーブルに載せていただきたい。統廃合を契機とする需要でなくとも、たとえば障害の有無など、スクールバスの運行により解消できるニーズを同時に探るべきである。 【C委員】 対象となる児童・生徒の距離の基準を6kmとしている理由の説明を受けたが、乗車定員に余裕があるのであれば、距離以外の要因も考慮して対象を広げることも検討していただきたい。距離が短くても危険が予想される地域、健康上配慮が必要な児童・生徒、障がいのある児童・生徒等に対して柔軟な対応が望まれる。また、イレギュラーな登下校(親や家族が送迎できない急な遅刻や早退など)についても幅広く対応することが望まれる。各学校のスクールバス運行委員会と密に連携を図っているとのことなので、今後も、バス停の位置や運行経路の検討、自宅からバス停までの児童・生徒の安全管理、日々の乗車確認の徹底(乗るはずの児童・生徒が全員乗っているか、乗車しなかった児童・生徒の理由確認等)を行っていただきたい。				

令和7年度教育行政(個別事業)点検評価結果報告書

事業番号	2	部課局名	学校教育課	事務事業対象年度	令和6年度
事務事業名	学習用ICT機器管理事業				
事業の目的	GIGAスクール構想により導入した学習用端末や校内ネットワークを管理するとともに、補助教材となるデジタル教材の導入やICT支援員を配置し、ICTを活用した授業支援、環境整備支援、校内研修支援等を行う。				
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学習用端末の維持管理 ・学習用校内ネットワーク機器の維持管理 ・学習支援ソフトの導入及び活用支援 ・授業支援ソフトの導入及び活用支援 ・ICT支援員の配置 <p>【事業費 40,466千円】</p>				
内部評価結果 (総合評価)	① 事業執行状況(Ⅲ)の評価結果				
	<input checked="" type="radio"/> 必要性・効果が高い <input type="radio"/> 必要性・効果がある <input type="radio"/> 必要性・効果がない				
	② 今後の方針				
点検評価委員会による評価結果	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止・休止				
	点検評価結果	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止・休止			
	点検評価理由	<p>【A委員:現行どおり】 各学校において学習用端末(タブレット)が授業の中で効果的に活用されています。また、ICT支援員も学習の質の向上に大きく貢献しています。「確かな学力」育成プロジェクトとの関係も深い事業であり、現行どおり事業の継続が必要と考えます。</p> <p>【B委員:現行どおり】 学習用端末の活用に支障がでないよう引き続き維持管理と活用支援をお願いしたい。</p> <p>【C委員:現行どおり】 国がGIGAスクール構想を推進する以上、市としても取り組む必要がある事業である。事業の目的にあるように、学習用端末の整備、校内ネットワークの整備・管理、デジタル教材導入、ICT支援員配置、研修を含めた各学校への支援等を進め、期待される教育成果の達成を目指していただきたい。</p>			
	主な意見	<p>【A委員】 コロナ禍のリモート授業において、学習用端末(タブレット)は児童・生徒の学習支援に大きな成果を上げることができました。学習用端末(タブレット)の活用にあたっては、行政側としては一層のセキュリティ対策・ネットワーク環境の整備・ICT支援員のサポート体制の強化に、学校側としては児童・生徒への情報モラル教育の実施や健康管理の徹底に努めてほしいと思います。また、何らかの理由で学校に来れない児童・生徒の学習支援に学習用端末(タブレット)の効果的な活用をさらに検討してほしいと思います。</p> <p>【B委員】 「授業でICT機器を週3回以上活用する」のは活動量指標＝Output指標＝手段であって、成果指標＝Outcome指標＝目標ではない。週3回以上活用するとの「手段」を講じた結果、児童生徒にもたらされるものを「目標」と設定すべき。たとえばICT機器利用による「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に学ぼうとする態度」(まとめて「学力」)の向上、あるいは「授業が楽しい」と感じる児童・生徒を増やすことなど。</p> <p>【C委員】 すでに取り組んでいることと思うが、社会や他国で学習用端末やデジタル教材活用について問題点が多く指摘されている現状を踏まえ、どのような活用方法が望ましいのか、各学校の特色や考えを尊重しながらも、市としても方向性を示し、より効果的な活用を目指す必要がある。この事業によって児童・生徒の学力向上が図れたのか(どのような力が伸びたのか)、各学校や指導に当たる教員、児童・生徒、家庭の困り感はないか、ICT支援員の活用は十分だったか等、これまでの成果を十分に検討し、費用対効果のある事業を目指していただきたい。</p>			

令和7年度教育行政(個別事業)点検評価結果報告書

事業番号	3	部課局名	生涯学習課	事務事業対象年度	令和6年度
事務事業名	はたちのつどい実施事業				
事業の目的	二十歳という節目を迎えた郷土の若者を祝福し激励するとともに、改めて社会人としての自覚と社会に貢献することへの意識を高めてもらうことを目的として実施する。				
事業の概要	<p>常陸大宮市はたちのつどい実行委員会に対し補助金を交付し、はたちのつどい式典を実施する。</p> <p>実行委員会は、中学校卒業時に各中学校から推薦された者及び立候補者で構成している。式典実施年度に推薦された者への意向調査と新規者の声掛けを行い実行委員を確保している。</p> <p>実行委員会は、式典前に2回、式典終了後に1回実施し、式典内容等について協議する。</p> <p>○事業内容 式典及び記念写真撮影</p> <p>【事業費 1,165千円】</p>				
内部評価結果 (総合評価)	① 事業執行状況(Ⅲ)の評価結果				
	<input checked="" type="radio"/> 必要性・効果が高い <input type="radio"/> 必要性・効果がある <input type="radio"/> 必要性・効果がない				
	② 今後の方針				
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止・休止				
点検評価結果	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止・休止				
点検評価理由	<p>【A委員:現行どおり】</p> <p>二十歳を迎える者が実行委員の中心となって、はたちのつどいを企画・運営することは、社会人としての自覚と社会に貢献することへの意識を高めるうえで大切なことであると思います。市のために力になりたいという声が聞かれていることもその成果であると思います。今後も継続してほしい事業であると考えます。</p> <p>【B委員:現行どおり】</p> <p>大切な儀式であり続けるべきである。</p> <p>【C委員:現行どおり】</p> <p>若者の社会人としての自覚を促し、郷土愛を深めるとともに、郷土から全国もしくは世界へと活躍の場を広げ羽ばたいていくことへの激励の場となることが期待できる。継続の意義がある事業であると考えます。</p>				
主な意見	<p>【A委員】</p> <p>成果指標において、出席者の目標値398人に対し、実績値309人、達成度78%は十分に評価できる成果であると思います。ただ、89人は不参加となっていますので、参加できなかった理由を押さえておくことや不参加者への温かな対応を大切にしてほしいと思います。また、はたちのつどいのより一層の充実のために、実行委員会の活動を早めにスタートし、時代に合った内容を検討する時間の確保や実行委員の団結力育成に努めるのも大切であると思います。</p> <p>【B委員】</p> <p>執行状況評価を「A 期待したとおりの成果がある」とするのにも、参加割合が78%では心許ない。目標値を少なくとも80%としていただきたい。</p> <p>【C委員】</p> <p>事業の成果を把握する指標をより明確にして検証をする必要があろう。式典の内容を、より参加者にとって魅力的なものにしていく工夫も望まれる。実行委員の確保が課題であると説明を受けた。実行委員数はもっと少なくても良いと考える。</p>				

令和7年度教育行政(個別事業)点検評価結果報告書

事業番号	4	部課局名	生涯学習課	事務事業対象年度	令和6年度
事務事業名	文化祭開催事業				
事業の目的	地域住民の生涯学習に対する意欲を高めるとともに、発表会・作品展示等の場を提供することで、クラブ活動や講座での活動を有意義なものにするため、文化協会との共催により文化祭を開催する。				
事業の概要	<p>文化協会との共催による文化祭を実施する。 ○10～12月の期間に美術展・華道展、茶会、芸能発表会、音楽祭、囲碁大会、吹奏楽団定期演奏会等を開催する。 ○お知らせ版、ホームページ等に掲載し、参加を募る。小・中学校には文書で依頼する。 ○運営や準備は文化協会会員が中心になって行う。 ○市文化センターを会場にして開催し、囲碁大会は中央公民館、音楽祭は緒川地域センター文化ホールで開催する。</p> <p>【事業費 561千円】</p>				
内部評価結果 (総合評価)	① 事業執行状況(Ⅲ)の評価結果				
	○必要性・効果が高い ●必要性・効果がある ○必要性・効果がない				
	② 今後の方針				
点検評価結果	○ 拡充 ● 現行どおり ○ 見直し ○ 縮小 ○ 廃止・休止				
	<p>【A委員:現行どおり】 文化祭は、参加者・来場者が毎年楽しみにしている事業であり、市民の文化意識の高揚や自主的な芸術活動に貢献していると思います。参加者・来場者が増える取組を検討しながら今後も現行どおり事業を継続してほしいと考えます。</p>				
	<p>【B委員:現行どおり】 来場者数が前年度を上回っており努力が実っている。</p> <p>【C委員:現行どおり】 市民の生きがいの構築、学び続けることへの意欲の高揚、活動を通しての市民同士の交流の促進等に効果があると考えます。毎年、出品や観賞を楽しみにしている市民も多いであろう。継続の意義がある事業であると考えます。</p>				
点検評価理由	<p>【A委員】 地域住民の生涯学習に対する意欲を高めるという視点から、活動指標としては文化祭に出品した作品展示数だけではなく、作品の出品者数や囲碁大会・音楽祭への参加者数の合計といった人数でとらえておくことも大切かと思ひます。また、文化祭等への関係者以外の参加・来場を促すために、アンケートを活用して参加・来場した人の満足度や要望を年代別に分析しておくことも大切であると思ひます。要望等が少しでも文化祭の改善に活用されることが、参加したい・来場したいという意識の高揚につながっていくと思ひます。</p>				
主な意見	<p>【B委員】 来場者は講座・クラブ会員が圧倒的に多く、高齢化が進んでいるとのこと。この総括(Check)を次年度方針の目標指標(PLAN)にも反映されたい。(来場者属性を新たに加えるなど)</p> <p>【C委員】 出品者、参加者、来場者を増やすために、実施時期、実施期間、実施場所、実施方法、広報手段等を常に検証する必要がある。すでに取り組んでいると説明を受けたが、小中高校生、およびその保護者・家族の参加・来場を促すことも引き続き進めていただきたい。</p>				

令和7年度教育行政(個別事業)点検評価結果報告書

事業番号	5	部課局名	文化スポーツ課	事務事業対象年度	令和6年度
事務事業名	文化振興事業				
事業の目的	郷土の有形・無形の文化財を伝承する団体の保存・継承活動を支援することで、郷土に対する誇りや愛着の醸成を図り、地域に伝わる伝統文化の保全・伝承に努める。				
事業の概要	伝統文化の継承や担い手育成に取り組んでいる団体に補助を行う。 【事業費 844千円】				
内部評価結果 (総合評価)	① 事業執行状況(Ⅲ)の評価結果				
	<input checked="" type="radio"/> 必要性・効果が高い <input type="radio"/> 必要性・効果がある <input type="radio"/> 必要性・効果がない				
	② 今後の方針				
	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止・休止				
点検評価結果	<input type="radio"/> 拡充 <input checked="" type="radio"/> 現行どおり <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> 廃止・休止				
	点検評価結果理由	【A委員:現行どおり】 郷土の有形・無形の文化財を伝承する団体への支援は、保存・継承には不可欠であると思います。担い手を育てる取組を西塩子の回り舞台保存会・常陸大宮市伝統文化連絡協議会と連携しながら、現行どおり今後も事業の継続が必要であると考えます。 【B委員:現行どおり】 営利目的ではない行政活動の本来的な責務であり引き続き取り組んでいただきたい。 【C委員:現行どおり】 郷土の伝統文化を守り伝承していくことには大きな意義がある。特に西塩子の回り舞台は、全国的にもほとんど例を見ない貴重なものである。ぜひ市としても保存と伝承をバックアップすべきと考える。			
	主な意見	【A委員】 担い手の減少・不足は全国どの地域でも深刻な課題になっています。学校教育と関連付け、子どもたちが伝統文化に触れる機会を支援することが大切であると思います。特に、保存会の協力をいただき、児童・生徒への文化体験の提供に力を入れることが大切であると思います。また、伝統文化への関心を高める手立てとして、市民への伝統文化に関する意識調査を実施することも大切であると思います。伝統文化をどのように考えているのかを知り、手立てを講じていく必要があると思います。伝統文化を地域振興に生かしたいと考える市民も多くいるのではないかと思います。 【B委員】 事業名が文化の「維持」「保全」「継承」といった言葉よりも一步踏み込んで「振興」となっていることから、言葉尻にこだわれば「現状維持」では目標達成と言えない。少なくとも加入団体数を増やすことを目標にするか、あるいは現状維持を目標とするなら事業名を修正すべき。しかし願わくは、来場者数や担い手を増やすことを目標とするほうがより本質的であり、さらに回り舞台については継承者・担い手育成の観点から小学生の多くが技を継承していることが何より意義深いことなので、その点を目標にしてはどうか(回り舞台で演者として舞うことのできた小学生の人数、など)。 【C委員】 事業の成果として「B 期待したほどの成果が見られない」とされ、その理由を「担い手が少ないから」と説明を受けたが、市のバックアップにより、西塩子の回り舞台が復活し、続けられていること、小学生が総合的な学習の時間等に文化を学び芸能に取り組んでいることを考慮すると、現状の事業規模、予算での取り組みにおいては、大きな成果を上げていると判断して良いのではと考える。参加する子ども達は伝統芸能の奥深さを知り、様々な人と交流しながら地域の一員としての自覚を持ち、地域への愛着を深めることになる。多くの人と協働で創り上げる達成感を味わい、自信を持ってその後の人生を歩んでいけることと思う。今後、さらに発信に努め、支援の輪が一層広がることを期待したい。			

点検評価委員による評価結果

令和7年度教育行政(個別事業)点検評価結果報告書

事業番号		6	部課局名	文化スポーツ課	事務事業対象年度	令和6年度	
事務事業名		競技スポーツ支援事業					
事業の目的		市民のスポーツの振興と競技水準の向上を図るため、関東大会以上の各種大会へ出場する団体又は個人などへの派遣費用の一部助成を行う。					
事業の概要		<p>地区の予選会を経て、関東・全国大会に出場する個人、団体へ宿泊費及び交通費の一部(1/3)を助成する。</p> <p>①競技スポーツ支援補助金申請書の提出 ②競技スポーツ支援補助金交付(不交付)決定通知の送付 ③競技スポーツ支援補助金実績報告書及び請求書等の提出 ④競技スポーツ支援補助金の支払い (上限:個人3万円、団体20万円)</p> <p>【事業費 339千円】</p>					
内部評価結果 (総合評価)		① 事業執行状況(Ⅲ)の評価結果					
		●必要性・効果が高い ○必要性・効果がある ○必要性・効果がない					
		② 今後の方針					
		○ 拡充 ● 現行どおり ○ 見直し ○ 縮小 ○ 廃止・休止					
点検評価委員会による評価結果	点検評価結果	○ 拡充 ● 現行どおり ○ 見直し ○ 縮小 ○ 廃止・休止					
	点検評価理由	<p>【A委員:現行どおり】 宿泊費及び交通費の一部助成は大会出場者の負担軽減に大きく貢献しており、市が大会出場者の活躍を応援していると実感できる事業であると思います。本事業の現行どおりの継続が望ましいと考えます。</p> <p>【B委員:現行どおり】 少なくとも現行どおり、可能であれば拡充(一人あたりの補助額増)を図っても良い施策と思われる。</p> <p>【C委員:現行どおり】 各種スポーツ大会参加者にとって市の支援は大変ありがたく、活動の機会を広げることにつながるので、ぜひ継続すべき事業だと考える。</p>					
		主な意見	<p>【A委員】 提出書類については、事務局と学校・スポーツ団体等の関係者が集まり、手続きの効率化・簡略化を検討していく必要があると思います。話し合いにより、この事業の周知徹底、市民のスポーツ振興や競技水準の向上につながっていくのではないかと思います。</p> <p>【B委員】 実績を出せた人への補助金支給であることから、无尽蔵に支出が膨らむことは考えにくい。逆に、該当者が増えた場合でも上限を設けていない(先着順で予算が尽きたら支給しないという方式ではなく補正予算で全員に対応)という方針とうかがった。この2点に鑑み、私見では一人当たりの補助額をあげるべきではないかと考える。</p> <p>【C委員】 県大会を勝ち抜くことが条件との説明を受けたが、県大会の参加者が少ない大会、私的な団体・組織主催の大会もある。大会の規模、主催者等、どのような大会が助成の対象になるのか、基準を明確に示しておくことが必要である。申請数が目標値を超えても助成の対象になるようである。申請側としては有り難いが、予算の確保が必要である。現在、すでにスポーツ以外の文化的な活動についても助成制度があるかも知れないが、もしなければ今後助成するか検討していただきたい。</p>				

令和7年度常陸大宮市の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価
結果（令和6年度事業分）に関する所見

常陸大宮市教育行政点検評価委員 鹿島 優

1 教育委員会の活動状況

教育委員会の活動状況について、活動内容が計画的であり、適正かつ正確に執行されていると評価いたします。

2 教育委員会が管理・執行する事務

教育委員会が管理・執行する事務について、事務の効率化と質の向上に努めながら適正かつ正確に管理・執行されていると評価します。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務について、適正かつ正確に管理・執行されていると評価します。

令和7年度常陸大宮市の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価
結果（令和6年度事業分）に関する所見

常陸大宮市教育行政点検評価委員 池内 耕作

1 教育委員会の活動状況

適正に進められていると評価いたします。

2 教育委員会が管理・執行する事務

適正に進められていると評価いたします。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

適正に進められていると評価いたします。

令和7年度常陸大宮市の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価
結果（令和6年度事業分）に関する所見

常陸大宮市教育行政点検評価委員 佐藤 隆

1 教育委員会の活動状況

教育委員会の活動について、適正に進められていると評価いたします。

2 教育委員会が管理・執行する事務

教育委員会が管理・執行する事務について、適正に進められていると評価
いたします。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務

教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務について、適正に執行さ
れていると評価いたします。